



地域とともにある学校づくり

家庭・地域で守る子供たちの安全【糸我小学校】

有田市内では、子供たちが安心・安全に登下校をするため、学校・保護者・地域が協力して通学路の安全確保に取り組んでいます。

糸我小学校区でも、地域の見守りボランティア、地域安全推進委員、保護者等が定期的（又は御時）に通学路に立ち、子供たちに声をかけながら見守り活動を行っています。

また、自治会の話し合いの場で、傷んできている「飛び出し注意」呼びかける人形の立て替えや髷役の意見が出されました。

自治会、保護者と学校が協力して、7月18日（日）に、アンケートによって決定した場所に新しく作成した人形を設置しました。

新しくなった人形を見かけた地域の方も喜んでくれています。

糸我小学校区では、これからも地域・家庭・学校が一体となって子供たちの登下校を見守り、健やかな成長を見守っていく気持ちを強くしました。



チーム六桜花【初島中学校】

初島地区在住の有志の方により、令和元年度に「チーム六桜花」が発会しました。チーム名の「六桜花」とは花弁が6枚ある桜の花のことで、まれに見つけることができるそうです。非常に珍しい花ですが、初島小学校・初島中学校の校歌に歌われています。

「チーム六桜花」は、「生活支援プロジェクト」と「中学校コラボプロジェクト」の2つの活動を計画して発会しましたが、初島中学校が箕島中学校に統合され令和3年度末に閉校になることから、初島中学校の生徒たちに「ふるさと初島」を愛し、「ふるさと初島」の誇りを胸に人生を過ごしてほしいと、中学校コラボプロジェクト「ふるさと学習」を学校と協働で実施しています。

令和2年度の実施内容は、ふるさと初島の歴史や文化に焦点を当て、「東燃と共に生きる町」「地域を支える農業と段々畑（石積み体験）」「地場産業（手袋工業）」「石碑から見えてくるふるさとのこと」という4つのテーマで、地域の方を講師として学習したり、現地調査や体験活動を行ったりしました。チーム六桜花の企画により、全体の学習内容や計画が充実し、講師等の地域の人材活用もスムーズに行われました。



令和3年度は、「先人に学ぶ」をテーマに、初島に住む人や初島中学校にゆかりのある人などのお話を通じて自分たちのふるさとについて理解を深め、自分の将来や初島の未来について考えます。